

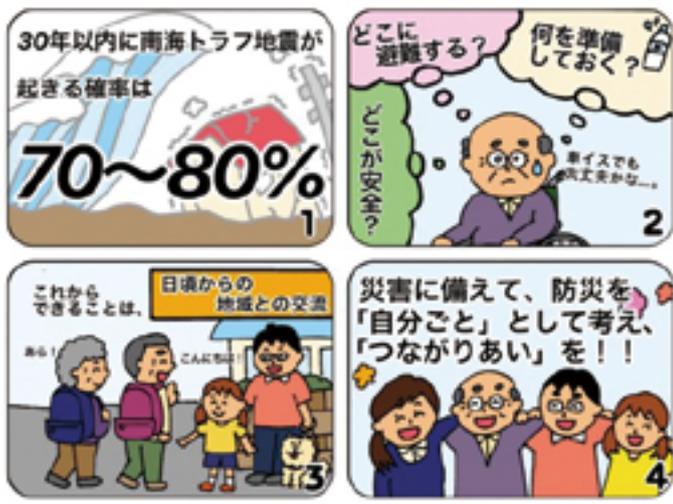
ミライクNews vol.7



4コマ漫画を
学生ジャーナリストが作成！
防災について話し合おう！

11月に開催される日本女性会議2020あいち刈谷（ミライク会議）に向けて実施したアンケートで、「男女共同参画」という言葉から「防災」を思い浮かべる人がとても少ないことが分かりました。

しかし、防災の分野にも男女共同参画の視点は大切です。どんな関わりがあるのか、一緒に見てみましょう！



1 身近な地域でつながろう！

災害時での安心・安全を得るためには、自ら取り組む「自助」、地域で協力して取り組む「共助」、行政や公的機関などによる「公助」が大切です。中でも、いざという時にいち早く頼りになるのが、住民同士の助け合い、身近な地域のつながりによる「共助」であると言われています。

ミライク会議のコンセプトに「多様性の尊重」や「世代をつなぐ」があることをご存知ですか？
日頃から年齢や性別に関係なく交流し、「共助」の精神を忘れずに災害に備えましょう！



2 皆で協力し合おう！

非常時には性別による役割分担意識が色濃く出てしまうことがあります。

例えば、男性は避難所などで主体的な役割が与えられ、女性は補助的な役割を担う傾向があります。家事や子育て、介護などの家庭的責任の負担が女性に集中することも。

災害時はもとより日頃から男女共同参画の意識を持ち、協力し合うことが大切です！



3 だれでもできる！

消防団の活動は、防災訓練をはじめ、災害時の避難誘導や人命救助を行うなど多岐に渡り、学生や公務員、会社員などさまざまな立場の人が参加しています。

「消防団」と聞くと男性をイメージする人が多いと思いますが、女性の団員も年々増えています。

支援体制をより強化するために、性別に関わらず多様な人が参画し、地域の安心・安全を高めたいですね！



この続きは、ミライク会議に参加して一緒に考えましょう！